

事務事業名	市民健康づくり事業	整理番号	21101-010
所管	健康福祉部 健康推進課		

●事務事業の位置付け

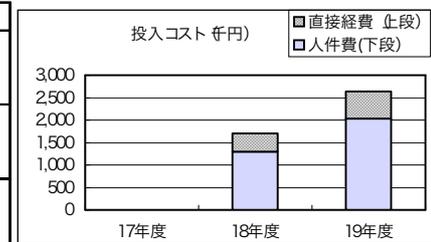
期間	平成18年度～平成年度	根拠法令・要綱等	健康増進法
基本計画における位置付け	基本政策	2-1 心身の健康づくり	関連政策
	政策	2-1-1 健康づくり活動の促進	

●事務事業の内容

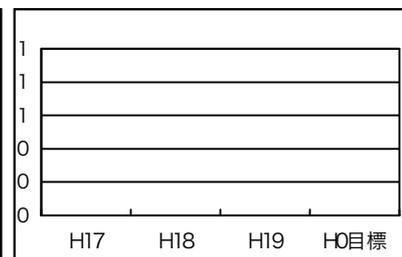
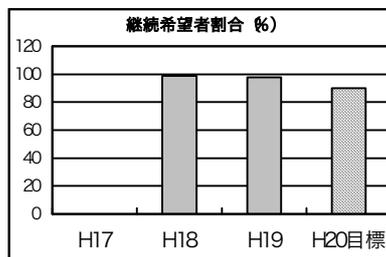
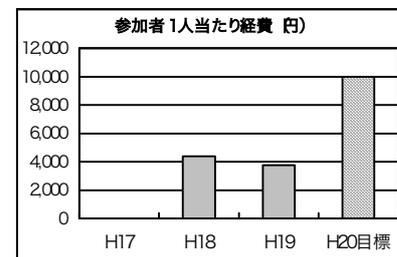
目的 (何のために)	市民一人ひとりが生活習慣病予防、健康増進等、健康に関する正しい知識を身につけ、「自分の健康は自分で守る！」という意識と自覚を高め、食生活の改善や運動習慣を身につけるきっかけとする。
対象 (誰・何を)	市民
手段 (どのようなやり方で)	健康教育、相談、食育・啓発により生活習慣、食生活などの改善等を促すとともに運動習慣が見につくように、健康づくり推進大会など様々な機会に市民へPRしていく。
成果 (どのような状態にしたいか)	市民が生活習慣病予防、健康増進等を図るため、食生活の改善や運動を日常生活の中に取り入れるなど、健康に関して正しい知識を身につけるとともに、自分のものとする。
事務事業の背景・住民の意向	特定健診制度などが開始されたことなどにより、健康の大切さが認識され、健康への関心が高まってきている。
見直し改善の経過	他の事業との連携や身近なところで体験できるような工夫をし、市民が取り組みやすい環境をつくる。

●事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績
平成17年度	
平成18年度	健康づくり推進大会 389人(健康ウォーキング, ベタボード, スカイクロス, 健康相談, 栄養相談, 新体力テスト)
平成19年度	健康づくり推進大会 630人(健康ウォーキング, スカイクロス, 健康相談, 栄養相談, 新体力テスト) 生き生き健康ウォーキング講座 72人



●評価指標



●事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)		コメント	
観点別評価	必要性	★★★★★	市民一人ひとりが生活習慣病予防、健康増進等、健康に関する正しい知識を理解し、自分自身の行動を変革させ生活改善や運動習慣を身につけて取り組んでいくことは、健康寿命の延伸につながり、結果として医療費の抑制にも貢献することになる。
	有効性	★★★★	
	効率性	★★★	
一次評価	B	★★★★	今後の方向性 継続
二次評価(行政評価委員会の評価)		コメント	
二次評価	B	☆☆☆	他のイベントとの共催や他団体との協働など、事業の開催方法を検討し、さらに効率的な事業運営を行うなどコスト削減に努められたい。
			今後の方向性 継続

●改革プラン

平成20年度からの対応	大勢の市民が集まることが見込まれる他の事業との連携を図り、事業内容の周知や啓発を進める。 ※ わくわくフェスタ、生活フェアなどとの連携
平成21年度以降の対応	身近な場所での開催も重要なことなので、市内6地区の地区広場等を会場としたり、地元の体育振興会等とも連携したり、また、自主的な活動が進むような方策の検討。
改革により予想される成果	本事業を改革、見直ししつつ展開していくことで「自分の健康は自分で守る！」という意識と自覚が高まり、食生活の改善や運動習慣を身につけ、継続的に取り組む市民が増加し、健康寿命の延伸が図られる。